

肘掛け手すり(壁付式)

KFC-272K KFC-272E KFC-272EU
 KFC-273K KFC-273E KFC-273EU
 KFC-274KU KFC-274EU KFC-274EU3

工事店様へのお願い
 貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的な交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。
 商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

1. 安全上の注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。
- この施工説明書はお客さまで保管頂くように依頼してください。
 - 図記号の意味は以下のとおりです。

	「注意しなさい！」（注意を促す記号です。必ずお読みになり記載事項をお守りください。）
	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
	「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

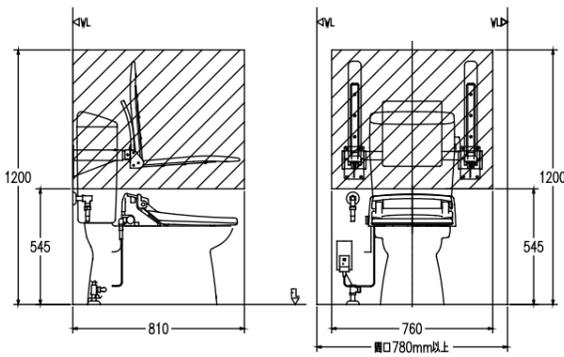
注意	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。	
外れたり、ガタが生じないように、強固に取り付けてください。 ※取付が不安定になり、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。		
十分な下地の厚さ及び補強があることをご確認ください。 ※取付が不安定になり、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。		
壁に腐食やガタツキがある場合は取り付けしないでください。 ※取付が不安定になり、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。		
取付面がタイル・コンクリートの場合は、アンカーボルトを使用してください。 ※取付が不安定になり、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。		
必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。		
浴室など、水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。 ※木製材料を使用のため腐食によりケガをする恐れがあります。 ※内部部品が腐食により、手すりの機能を損なう恐れがあります。		
取付壁に突起や不陸が無いことを確認してから施工してください。 ※床に突起や不陸があると、手すりの操作荷重が重くなったり、取付後のガタが発生する恐れがあります。		
固いものをぶつかけたり、強い衝撃を与えないでください。 ※商品が破損して、ケガをする恐れがあります。		
強い応力がかかった状態で取り付けしないでください。 ※商品が破損して、ケガをする恐れがあります。		

2. 施工前のご注意

- 取付前に、取付壁に突起や不陸がないことを確認してください。
※壁に不陸がある場合、ワッシャーやスペーサーを用いてフラット面を確認してください。
 - 油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。
※汚れがとれなくなる恐れがあります。
 - 便器等付属の施工説明書をあらかじめ準備してください。
 - 組み合わせできない便器があります。
※詳しくは総合カタログの組み合わせの注意を参照ください。
- [乾式壁の場合]
- 取付部材として付属の木ねじを使用してください。
 - ねじ込み深さが70mm以上になるように取付木(補強木)を設けてください。
- [湿式壁の場合]
- 取付部材として別売の取付ボルト(A-3712・2セット)を使用してください。
 - 下材はコンクリートとし、取付部の奥行きは70mm以上(コンクリートの厚さは40mm以上)を確保してください。
- 施工位置の注意
- シャワートイレ便座昇降装置「おしリフト」と肘掛け手すりとの組み合わせ時には取付高さを680mm以上にしてください。
 - 車いす対応便器(座面高さ420mm)とシャワートイレ便座昇降装置「おしリフト」の組み合わせに肘掛け手すりを付ける場合には取付高さを750mmにしてください。
 - 大便器自動洗浄(赤外線感知形)の場合、センサ取付位置が通常とは異なりますのでご相談ください。

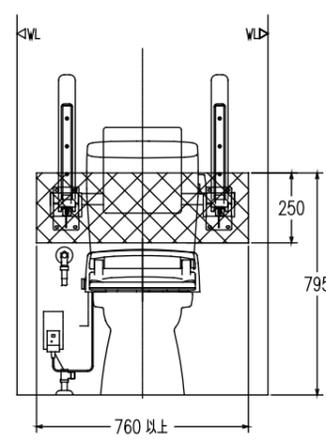
●設置位置の確認

下図の斜線範囲内に物が施工されていないことを確認してください。
 ※斜線内に物が施工されていると設置できない場合があります。

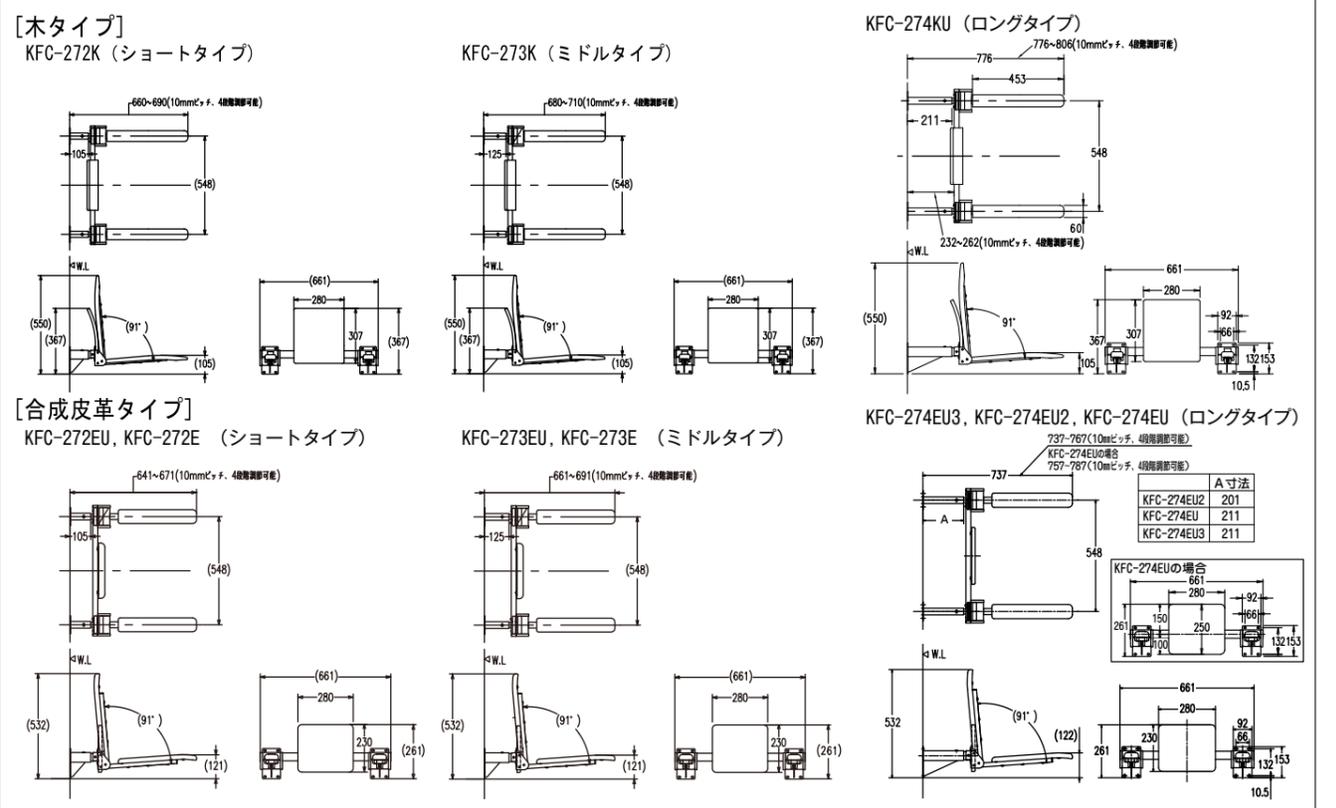


●補強位置の確認

- [乾式壁の場合]
- 取付部材として付属の木ねじを使用してください。
 - ねじ込み深さが70mm以上になるように取付木(補強木)を設けてください。
- [湿式壁の場合]
- 取付部材として別売の取付ボルト(A-3712・2セット)を使用してください。
 - 下材はコンクリートとし、取付部の奥行きは70mm以上(コンクリートの厚さは40mm以上)を確保してください。



■仕様図



■固定金具 (別売品)

固定方法	アンカー固定 (コンクリート下地)	はさみ込み固定 (木下地)	コーチねじ固定 (木下地)
品番	A-3712 肘掛け用 (アンカーボルトセット)	A-6479 肘掛け用 (はさみ込み固定セット)	KF-D16 (コーチねじセット)
梱包内容	<ul style="list-style-type: none"> ×4 アンカーボルト ×4 袋ナット ×4 ナット ×4 平ワッシャー 	<ul style="list-style-type: none"> ×8 ボルト ×16 平ワッシャー ×8 スプリングワッシャー ×8 ナット ×2 はさみ込みプレート 	<ul style="list-style-type: none"> ×4 コーチねじ ×4 平ワッシャー ×4 スプリングワッシャー
必要数量	2	1	2

3. 部品の確認

壁固定部L	壁固定部R	背もたれ部	調整バー固定ネジ	ネジキャップ

4. 施工手順

■施工前のお願い

●便フタが付いている場合

便フタを取り外して便座ストッパーを取り付けてください。
(取付方法は便座ストッパー付属の説明書を参照してください。)

■組み立て

1. 位置決め

取付け位置を決めマーキングしてください。

A: 748 mm (木タイプ手すり高さ700mmの場合)
731 mm (樹脂タイプ手すり高さ700mmの場合)
B: 274 mm

△注意 位置決めは現物合わせにて行ってください。本体フレームと背もたれの水平・垂直を確認してください。

2. 仮固定

【アンカー施工の場合】

施工部材 (製品 1 台当たり) ・A-3712 2セット
現場調達部材 (なし)

①壁固定部を取り、マーキング位置に下穴を開けてください。

△注意 ドリル径は6.5mmを使用し、下穴は6.5mm以上確保し取付けを行ってください。※異なる条件で取付けをされた場合、器具が落下しケガをする恐れがあります。

②アンカーボルト挿入前に、ブロアー等を用い、切粉を完全に除去します。

③ナットを付けた状態で、アンカーボルトの心棒をハンマーで確実に打ち込みます。

△注意 打ち込み時にはボルト頭が2~3山出たことを確認してください。※それ以上出ている状態で器具取付けを行うと、十分な締め付けが出来ず、器具が落下し、ケガをする恐れがあります。

④ナットを取り外します。

⑤本体をアンカー付属の袋ナットに変更し、本体が水平・垂直であることを確認し、袋ナットにて仮固定します。

4. 固定

強固に固定してください。

△注意 施工ネジは必ず8本全て使用して強固に止めてください。※ガタツキの原因になります。

※[コーチねじ施工]の場合は、強固に固定後、ネジキャップを取り付けてください。

2. 仮固定(つっき)

【はさみ込み施工の場合】

施工部材 (製品 1 台当たり) ・A-6479 1セット
現場調達部材 (なし)

①肘掛けを取り、マーキング位置に通し穴を開けてください。

△注意 ドリル径は4.0mmを使用してください。※異なる条件で取付けをされた場合、器具が落下しケガをする恐れがあります。

②裏側にプレート当て、ボルト、ナット、平ワッシャーにて挟み込んで仮締めしてください。肘掛けの水平、垂直を合わせ仮固定します。

【コーチねじ施工の場合】

施工部材 (製品 1 台当たり) ・KF-D16 2セット
現場調達部材 (なし)

①肘掛けを取り、マーキング位置に通し穴を開けてください。

△注意 ドリル径は4.0mmを使用してください。※異なる条件で取付けをされた場合、器具が落下しケガをする恐れがあります。

※仕上げがタイルの場合は、タイル部のみφ6.5mmの下穴をあけてください。

②コーチねじにワッシャーを通し、フランジの取付穴より壁固定部を仮固定してください。

※補強木は厚みを50mm以上とし、柱または間柱に固定してください。

3. 組立て

壁固定部を微調整しながら背もたれ部を差し込み調整バー固定ネジにて固定してください。

背もたれは4段階の長さ調整ができます。便座が自立する位置にて固定してください。

△注意 シャワートイレシートタイプとの組み合わせで便座が自立しない場合は、自立する位置まで便座を前出ししてください。

4. 固定

強固に固定してください。

△注意 施工ネジは必ず8本全て使用して強固に止めてください。※ガタツキの原因になります。

※[コーチねじ施工]の場合は、強固に固定後、ネジキャップを取り付けてください。

■施工後の作動確認

●施工後、取付方向が正しいか及び手すりを立てた状態から手すりを下ろす方向に力を加えるとゆっくり下りることを確認してください。

立てた状態

下ろす方向に力を加えるとゆっくり下りる